

### 別紙13 アリーナ座席要件表

＜共通事項＞

- ・下表に記載がないものについては、「ホームアリーナ検査要項 2026-27シーズン新B1用」を充足すること。
- ・観客席は、長時間座っても快適に過ごせるものとする。
- ・観戦・観覧時のサイトラインに十分に配慮し、安全性を確保しつつ適切な勾配を設けるとともに、臨場感や躍動感を感じられるような計画とすること。
- ・見切れ席が生じない計画とすること。
- ・席番・列番等を表示するプレート等を設置するなどして、座席位置を特定できるようにすること。

＜席種毎の要求水準＞

席種 <sup>※1</sup>		要求水準	席数 <sup>※2</sup>	
			必須	提案
既存機能エリア	①固定席(スタンド席)	・座席寸法は、横幅:500mm以上、奥行:850mm以上とすること。 ・材質は、布地(ファブリック)又は樹脂とすること。 ・カップホルダーを肘部、背裏又は座席下に設置すること。	4,000席以上	
	②可動席・移動席 <small>※可動席:一辺が固定され、座席部が動いて展開・収納されるもの ※移動席:観覧席全体が平面上を自由に移動でき、座席部が動いて展開・収納されるもの</small>	・可動席の駆動方式は、フルオート式又はセミオート式とし、壁面収納が可能なものとする。 ・座席寸法は、横幅:500mm以上、奥行:900mm以上とすること。 ・材質は、布地(ファブリック)とすること。 ・カップホルダーを肘部に設置すること。 ・跳上座面とすること。 ・縦通路間の一列あたりの席数について、コートサイド(センターコートを配置した際の長辺側)は12席以下とすること。 ・移動席を計画する場合は、上記の仕様に準ずるものとし、収納スペースを近接した場所に設けること。		
	③仮設席・イス席	・リーグの試合開催時にコートサイド・コートエンド(センターコートを配置した際の短辺側)に3列以上確保できること。その際に設置するイスは、秋田ノーザンハピネッツが自ら用意するが、横幅:500mm、奥行:900mmで想定し、必要な座席数を設置できる計画とすること。		
既存機能エリア 又は 新機能エリア	④車椅子席 ⑤車椅子介助者席	・座席へのアクセスに配慮した計画とすること。 ・座席付近に電動車椅子充電用のコンセント設備を設けること。 ・車椅子席1席につき、介助者1名分のイスを設置するスペースを確保すること。	30席以上 30席以上	
新機能エリア		【VIPスイート】 ・20人程度を収容可能な居室を1室計画すること。 ・居室と付帯する観客席との間がガラス・建具等により間仕切られていること。 ・居室は、皇族等の利用を想定したしつらえ・デザインとし、必要な什器・備品を計画・配置すること。 ・付帯する観客席の座席数は、居室の収容人数と同数とすること。 ・付帯する観客席については、平場や段床にソファ、サイドテーブル等を配置する計画とし、皇族が利用する際には座席配置等のレイアウトを変更できるものとする。 ・利用者のプライバシーに配慮し、独立した観客席の区画とすること。 ・照明・空調を個別に制御できること。 ・居室内にコンセント設備、インターホン設備、デジタルサイネージ用モニター等の必要な設備を設けること。	120席以上	席種は問わない
	⑥スイート席	【カジュアルスイート】 ・8~12人程度を収容可能な居室を10室以上計画すること。 ・うち少なくとも4室は、付帯する観客席との間がガラス・建具等により間仕切られているものとする。 ・上記以外の居室については、付帯する観客席との間にガラス等がなく、アリーナと一体的な空間となっているものとする。なお、居室間の間仕切りの取り外し等の方法により、複数の居室が接続し、50人以上が収容可能な空間に可変できること。 ・居室は、ビジネスシーンや家族・友人同士の利用など多様な利用用途を想定し、複数のグレードを設定すること。なお、居室のグレードに応じてしつらえ・デザインを検討し、必要な什器・備品を計画・配置すること。 ・付帯する観客席の座席数は、居室の収容人数と同数とすること。 ・付帯する観客席の材質・形状・寸法等の仕様は、居室のグレードに合った計画とすること。 ・利用者のプライバシーに配慮し、居室ごとに独立した観客席の区画とすること。 ・照明・空調を個別に制御できること。 ・居室ごとにコンセント設備、インターホン設備、デジタルサイネージ用モニター等の必要な設備を設けること。		
	⑦バラエティ席	・多世代の観客が楽しめる多様な観戦スタイルを実現するため、既存機能の一般席とは異なるボックス席、カップル席、テーブル席、マス席、ベンチ席など、バラエティのある観客席を計画すること(各座席の仕様は、「ホームアリーナ検査要項 2026-27シーズン新B1用」を充足する必要はない)。 ・各座席・テーブルの材質・形状・寸法等の仕様は、興行主が来場者に高い付加価値を提供できるよう計画・調達すること。 ・すべてを固定式の座席とする必要はなく、試合コートを見渡せる位置に移動可能なテーブルやイスを設置することも可とする。なお、この場合においては、段床を設けるなどして、観戦・観覧時のサイトラインに十分に配慮すること。 ・ラウンジエリアの試合コートを見渡せる位置にバラエティ席を設けることも可とする。		
			計6,000席以上	

※1:立見席を除く。

※2:席種毎の必須の席数に提案による席数を加えた座席数で6,000席以上を確保し、かつ、「ホームアリーナ検査要項 2026-27シーズン新B1用」に適合する座席を5,000席以上確保すること。